

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	邦楽
----	------	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっぽんしゃだんほうじんながうたきようかい		団体ウェブサイトURL	
	一般社団法人長唄協会		https://www.nagauta.or.jp/	
代表者職・氏名	会長 芳村伊十郎(代表理事 小田隆弘)			
制作団体所在地	〒	160-0023	最寄り駅(バス停)	東京メトロ丸ノ内線「西新宿」駅
	東京都新宿区西新宿6-12-30芸能花伝舎A棟2F			
電話番号	03-6279-4749			
ふりがな 公演団体名	いっぽんしゃだんほうじんながうたきようかい		団体ウェブサイトURL	
	一般社団法人長唄協会		https://www.nagauta.or.jp/	
代表者職・氏名	会長 芳村伊十郎(代表理事 小田隆弘)			
公演団体所在地	〒	160-0023	最寄り駅(バス停)	東京メトロ丸ノ内線「西新宿」駅
	東京都新宿区西新宿6-12-30芸能花伝舎A棟2F			
制作団体 設立年月	大正14年(1925年)7月			
	役職員		団体構成員及び加入条件等	

<p>制作団体組織</p>	<p>下記()内は、履歴事項全部証明書に記載の役員に関する事項の役職と本名を記載)会長芳村伊十郎（代表理事 小田隆弘）副会長 今藤長十郎（理事 坂田早苗）、副会長 杵屋佐吉（理事 武藤吉彦）、副会長 藤舎呂船（理事 橋利明）、常任理事 杵家弥七（理事 赤星 輝幸）、常任理事 吉住小三郎（理事 吉住彰規）、常任理事 日吉小三八（理事 石村和人）、常任理事 和歌山富朗（理事 谷口之彦）、常任理事 東音西垣和彦理事他 11名、監事 芳村伊四郎（監事 太田孝彦）他監事 2名</p>	<p>当法人は、理事会23名（代表理事1名を含む）を含む協会員2,000名（2023年9月1日現在）にて構成。会員は、各流派の芸名を持つ事を原則とし、各流会派の推薦する演奏家の本会への入会は、定款第6条の会員の資格の取得に基づく。</p>	
<p>事務体制 事務(制作)専任担当の有無</p>	<p>事務(制作)専任の担当者を置く</p>	<p>本事業担当者名</p>	<p>高嶋 昭雄</p>
<p>経理処理等の 監査担当の有無</p>	<p>有</p>	<p>経理担当者名</p>	<p>吉原 悦子</p>
<p>本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)</p>	<p>office@nagauta.or.jp</p>		

<p>制作団体沿革</p>	<p>長唄協会 大正14年（1925年）東京府知事の勧告により設立 昭和52年（1977年）社団法人認可 平成24年（2012年）一般社団法人認可</p>
	<p>長唄協会では、社団法人認可以前より、青少年の健全育成の一環として、小学生にも伝統文化に勤しむ時間を設ける為、昭和43年（1968年）12月より 学校巡回公演を主催から後援等で実施。その後中学校、大学も含め、現在、東京都、神奈川県で年間約10校程度実施。また、従来より、学校教員(音楽の先生)向けの長唄実技研修会を全国規模で展開しており、DVD付きのテキスト等を利用しながら、長唄を通して、三味線、囃子楽器等に直に触れ、日本の伝統楽器の特徴を理解しつつ、先生から生徒への円滑な指導に役立てている。その他、伝統文化芸能体験事業として、東京都他の要請を受け、学校や指定会場にて、体験事業を実施している。</p> <p>以下、学校巡回事業実施学校名(平成25年～令和3年)</p> <p>○平成25年 文京区立本郷小学校 江東区立東川小学校 小田原市 邦楽教室 中央区立日本橋小学校 文京区立昭和小学校 豊島区 邦楽鑑賞教室 国立市 邦楽鑑賞教室 杉並区3校合同邦楽鑑賞会 文京区立誠之小学校 武蔵野市立第六中学校</p> <p>○平成26年 武蔵野市立第四中学校 文京区立第一中学校 文京区立第一中学校 東京都立豊島高校 フェリス女学院大学 文京区立本郷小学校 文京区立誠之小学校 文京区立昭和小学校 新宿区立西戸山中学校 稲城市立稲城第四中学校 品川区立伊藤学園 江東区立東川小学校 小田原市ワークショップ 品川区立伊藤学園 品川区立伊藤学園 品川区立伊藤学園 中央区立日本橋小学校 千葉大学教育学部</p> <p>○平成27年 武蔵野市立第四中学校 武蔵野市立第六中学校 国立市邦楽鑑賞教室 フェリス女学院大学 小田原市立片浦小学校 小田原市立三の丸小学校 小田原市立曾我小学校 国立音楽大学附属小学校 豊島区立小学校 邦楽鑑賞教室 新宿区立西戸山中学校 新宿区立西戸山中学校 新宿区立西戸山中学校 新宿区立西戸山中学校 品川区立伊藤学園 品川区立伊藤学園 新宿区立西戸山中学校 文京区立第一中学校 文京区立第一中学校 国立市 邦楽鑑賞教室 世田谷区立駒留中学校 文京区立本郷小学校 中央区立日本橋小学校 文京区立昭和小学校 文京区立誠之小学校 江東区立東川小学校 豊島区立小学校 邦楽鑑賞教室 文京区立第一中学校 文京区立第一中学校 小田原邦楽鑑賞教室 小田原邦楽鑑賞教室 武蔵野市立第六中学校</p>

<p>学校等における 公演実績</p>	<p>○平成28年 フェリス女学院大学 川崎市立日吉中学校研修会 武蔵野市立第四中学校国立市 邦楽鑑賞教室 中央区立日本橋小学校 文京区立本郷小学校 文京区立誠之小学校 文京区立昭和小学校 武蔵野 市立第六中学校 文京区立第一中学校</p> <p>○平成29年 フェリス女学院大学 武蔵野市立第四中学校 江東区立東川小学校 文京区立礪川小学校 中 央区立日本橋小学校 文京区立本郷小学校 文京区立誠之小学校 文京区立昭和小学校 国立 小学校邦楽教室 武蔵野市立第六中学校 文京区立第一中学校 文京区立第一中学校</p> <p>○平成30年 フェリス女学院大学 文京区立礪川小学校 国立市小学校邦楽教室 中央区立日本橋小学校 文京区立昭和小学校 文京区立誠之小学校 文京区立本郷小学校 武蔵野市立第四中学校 文 京区立第一中学校 文京区立第一中学校 武蔵野市立第六中学校</p> <p>○平成31年 フェリス女学院大学 文京区立礪川小学校 武蔵野市立第四中学校 中央区立日本橋小学校 文京区立昭和小学校 文京区立誠之小学校 文京区立本郷小学校 国立市小学校邦楽教室 文京区 立第一中学校 文京区立第一中学校 武蔵野市立第六中学校</p> <p>○令和1年 フェリス女学院大学 文京区立礪川小学校 武蔵野市立第四中学校 中央区立日本橋小学校 文京区立昭和小学校 文京区立誠之小学校 文京区立本郷小学校 国立市小学校邦楽教室 後援 文 京区立第一中学校 文京区立第一中学校 武蔵野市立第六中学校</p> <p>○令和2年 フェリス女学院大学 文京区立昭和小学校 国立市小学校邦楽教室 文京区立礪川小学校 文 京区立本郷小学校 中央区立日本橋小学校</p> <p>○令和3年 文京区立誠之小学校 中央区立日本橋小学校 文京区立礪川小学校 文京区立本郷小学校 文 京区立昭和小学校 国立市邦楽鑑賞教室</p> <p>○令和4年 文京区立誠之小学校 中央区立日本橋小学校 文京区立礪川小学校 文京区立本郷小学校 文 京区立昭和小学校 国立市邦楽鑑賞教室</p> <p>○令和5年 中央区立日本橋小学校 文京区立礪川小学校 文京区立誠之小学校（10月実施）文京区立本 郷小学校（12月実施）文京区立昭和小学校（12月実施）国立市邦楽鑑賞教室（12月実施）</p>	
<p>特別支援学校等 における公演実績</p>	<p>文京区立第一中学校(特別養護学級)ほか</p>	
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>
<p>参考資料の有無</p>	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/PW7r_ANyFaA</p>

	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
		PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 一般社団法人長唄協会】

対象	小学生(低学年)	○		
	小学生(中学年)	○		
	小学生(高学年)	○		
	中学生	○		
企画名	はじめての長唄「京鹿子娘道成寺」「勸進帳」			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>◎はじめての長唄「京鹿子娘道成寺」「勸進帳」</p> <p>～第一部 みんなで共演！参加型 長唄「京鹿子娘道成寺」プロと一緒に全員で演奏しよう～ 曲目 長唄「京鹿子娘道成寺」作曲：初世杵屋弥三郎 より一部抜粋編曲(長唄協会)</p> <p>～第二部 じっくり鑑賞 長唄「勸進帳」 プロの熱演を心ゆくまで堪能してください～ 曲目 長唄「勸進帳」作曲：四世杵屋六三郎 作詞：三世並木五瓶 より一部抜粋編曲(長唄協会)</p> <p>プログラム構成、演出、一般社団法人 長唄協会</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90 分</p>			
著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当あり	該当コンテンツ名	歌舞伎「勸進帳」スライド
	該当事項がある場合	権利者名 松竹(株) (公社)日本俳優協会	許諾確認状況	採択後手続き予定
演目概要	<p>◎はじめての長唄「京鹿子娘道成寺」「勸進帳」</p> <p>長唄にはじめて触れる児童／生徒でも、分かりやすく楽しめるプログラムです。観て聴いて参加して、日本の伝統を心に刻む時間をお届けします。</p> <p>第一部 みんなで共演！参加型 長唄「京鹿子娘道成寺」 ワークショップでお稽古した長唄「京鹿子娘道成寺」を肩衣を着用してプロと再共演。長唄をより深く体感します。</p> <p>第二部 じっくり鑑賞 長唄「勸進帳」 プロ演奏家総勢13名の華やかで力強い演奏をじっくり鑑賞します。</p>			

<p>演目選択理由</p>	<p>大半の児童／生徒たちが長唄にはじめて触れることを想定し、楽しく分かりやすい演目を選びました。</p> <p>長唄「京鹿子娘道成寺」はワークショップでお稽古、発表した内容を膨らませ、本公演ではプロの多人数編成の演奏を聴くことができます。また、お揃いの肩衣をつけた児童／生徒がプロと並んで演奏に参加する機会を設け、視覚からも児童／生徒からの興味を引き出します。</p> <p>曲中に全員参加の部分の設けることで、より一層の一体感が生まれ、充実した感動体験となることでしょう。</p> <p>第一部 長唄「京鹿子娘道成寺」</p> <p>場面ごとの変化に富んだ大曲ですが、その中でも親しみやすく、弾きやすい箇所を抜粋しています。</p> <p>ワークショップのみではなく、本公演でも形を変えて同曲に触れることで、より深く身体に浸透させることができます。</p> <p>長唄は「全く知らない難しい曲」ではなく、プロを交え、皆で演奏をし、楽しい身近な音楽であると感じてもらいたいことがねらいです。</p> <p>また、第一部では演奏者、第二部では鑑賞者となることで、広い視点で舞台を鑑賞する能力を培います。</p> <p>第二部 長唄「勸進帳」</p> <p>プロの高度な演奏技術を堪能することができる、大変ドラマチックな曲です。「勸進帳」は中学校音楽の教科書にも掲載され、授業に採用している学校も多いため、実際の生演奏にふれることは貴重な経験となります。</p> <p>今回は「いいところ取り」と称して、15分間のハイライトを演奏します。「次第」「寄せの合方」など聴きどころは満載ですが、とくに「滝流しの合方」という器楽だけで演奏されるクライマックスは、そのスピード感と一糸乱れぬ演奏に圧倒されることでしょう。</p>
---------------	--

<p>児童・生徒の共演、参加又は体験の形態</p>	<p>○共演長唄「京鹿子娘道成寺」 選抜された児童／生徒は、肩衣をつけプロと並んで演奏します。 (ワークショップ時にお稽古したパートから数名ずつ選抜)</p> <p>その他の児童／生徒は↓の①と②で鑑賞場所より全員参加します。(おさらいの時間あり)</p> <p>①みんなで手拍子 ～お囃子のリズム～ 長唄「京鹿子娘道成寺」より、お囃子のリズムに手拍子で参加、プロの演奏に合わせてリズムカルに叩きます。</p> <p>②みんなで唄おう ～謡ガカリ～ 長唄「京鹿子娘道成寺」より、冒頭部分 へ花の外には松ばかり～を大合唱、曲のはじまりを全員で壮大に彩ります。</p> <p>○和楽器伴奏による校歌斉唱</p>		
<p>出演者</p>	<p>出演者 長唄協会所属 普及育成委員会を中心に国内外の演奏会で活躍し、歌舞伎の舞台や国立劇場の舞台にも頻りに立つ一流の演奏家を選抜 総勢13名(長唄4名、三味線4名、囃子5名編成) (ほか、後見、楽器説明など補助出演者3名以内)</p> <p>普及育成委員会メンバー 東音岩田喜美子(委員長) 杵屋五三丸(副委員長) 望月太左衛 望月庸子 望月太津之 梅屋巴 今藤政音 東音植松美名 芳村伊十治郎 杵屋栄日陽 東音守屋沙弥香 鳳聲晴代 杵屋五三吉都</p>		
<p>本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む</p>	<p>出演者: 16 名 スタッフ: 6 名 <hr/> 合計: 22 名</p>	<p>運搬</p>	<p>積載量: 2 t 車 長: 6.3 m 台 数: 2 台</p>

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	8:30	8:30～12:00	13:00～14:30	10分	14:30～17:00	17:00
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。						

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	20日	22日	15日	18日	22日	
	11月	12月	1月	計	152日	
	20日	18日	17日			
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。						

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	500名程度(体育館に収容できる人数)
		鑑賞人数目安	500名程度(体育館に収容できる人数)

公演に係るビジュアル
イメージ
(舞台の規模や演出が
わかる写真)

(図1) 体育館にてより多くの児童/生徒を受け入れられるよう、セッティングをします。



(図2) 舞台イメージ1

体育館舞台上に山台を組み、緋毛氈を敷き、実際の舞台と同じ仕込みをします。

本公演第一部の共演では、児童/生徒数名がプロとともに山台や壇上に並びます。

第二部のプロ演奏鑑賞時は、唄4名、三味線4名、お囃子5名が並びます。



(図3) 舞台イメージ2

山台を壇上に組み、下段にお囃子、上段に唄と三味線が並びます。

本公演の際は金屏風を背面に設置します。



※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>みんなで和（輪！）楽器体験～輪になって長唄「京鹿子娘道成寺」 ～</p> <p>曲目 長唄「京鹿子娘道成寺」 作曲初世杵屋弥三郎 より一部抜粋編曲(長唄協会)</p> <p>※お稽古と発表会で90分程度を必要としますが、45分でも対応します。その際には（人数により変動もありますが）発表会を割愛し、お稽古のみとなります。</p>		
ワークショップの ねらい	<p>◎全員体験が可能</p> <p>我々が提案するワークショップは学校の児童／生徒全員が参加することが可能です。</p> <p>三味線、小鼓は実際の楽器を使用しますが、両楽器とも、とくに演奏技術が必要なため、講師が対応できる最大数を用意しました。篠笛は、旋律を児童／生徒が所持しているリコーダーで演奏することで多人数の参加を可能としました。小学校低学年では楽器の扱いが難しいため、唄パートを用意しています。楽器を選択しなかった児童／生徒全員で長唄の発声を学びます。</p> <p>◎実際に楽器に触れてみる</p> <p>和楽器は、他の楽器に比べて目にする機会が少なく、持つことさえも困難な楽器です。そのような楽器ですが、専門家の指導のもと、正しい構え方・音の出し方を短時間で習得することができます。児童／生徒の興味をより引き出せるよう講師一同力を尽くします。</p> <p>◎稽古の成果を合奏で発表</p> <p>長唄は通常指揮者を置かず、横一列に並び、掛け声やお互いの息を汲みながら演奏します。今回は体育館の中心を向き、輪になることで演奏しているお互いの様子を目で見ながら演奏することができます。その場にいながら鑑賞、応援することができます。</p>		

◎長唄とは？

長唄の歴史や背景などをイラストやスライドを使用しながら、端的に説明します。演奏家が普段どのような心構えで演奏しているか、プロならではのエピソードなどもお話に交えることで、児童／生徒の演奏家に対する興味も引き出します。

◎感想 質疑応答 宿題提示

ワークショップで生まれた発見や疑問が本公演を楽しむための素地となります。

約一ヵ月後の本公演で長唄「娘道成寺」の演奏に全員参加しますので、簡単な宿題を提示し、お稽古の内容を記憶に留める工夫をします。また、講師陣による模範演奏の映像をワークショップ終了後に生徒に観てもらえるよう先生にお渡しします。

その他ワークショップに関する特記事項等

本事業への申請理由

【公演団体名

一般社団法人長唄協会

】

①本事業に対する取り組み姿勢

長唄協会は大正14年（1925）に設立して以来、演奏会活動を中心に様々な事業に従事して参りました。その中で、小学生に生の邦楽を聞かせたいという思いから昭和43年（1968）より学校巡回演奏を始め、翌年昭和44年（1969）には受け皿としての団体「集団・日本の音」も設立されました。

以来、現在までの約60年間で、訪れた学校は延べ約1700校、参加した演奏家は約2万3000人余りという規模の運動に発展しました。

平成14年（2002）の学習指導要領改定により、和楽器、民族楽器の義務化が為され、当協会はこの改定に対応すべく、平成11年

（1999）、邦楽教育対策委員会を立ち上げ、平成13年（2001）には社団法人認可以来積極的に推進してきた学校巡回演奏委員会と合体させ、学校教育邦楽普及育成委員会（学邦委）を設置しました。この学邦委は今日の普及育成委員会の前身となるものであり、学校巡回演奏公演を中心に、様々な事業を行ってきました。

平成20年（2008）、東京からの文化の創造発信を強化する取り組みとして、東京都と東京都歴史文化財団が芸術文化団体やアートNPO等と協力して「東京文化発信プロジェクト」を開始、芸術文化を通じた子供たちの育成を図る「キッズ事業」の展開が開始されました。

長唄協会ではこの趣旨に賛同し、平成21年（2009）度より20余名の会員により「キッズ伝統文化・芸能体験プロジェクト」を組み企画し現在に至っています。

以上のように長唄協会として約60年余り、学校巡回に力を入れ活動してきました。さらに発展させるべく諸先輩方の尽力の歴史を継承し、将来にわたり長唄のファンを作り続けるということは今後も重要だと位置付けています。伝統楽器に触れ、プロと一緒に発表会をした、という経験を一人でも多くの児童に届けることは、長唄協会の使命のひとつです。

文化庁の事業に参加することで、今まで行くことのなかった地域、

より多くの学校児童に裾野を広げ、従来より人員などを増やすこともでき、「体験」に関して充実させることが可能となります。さらに、ワークショップ～本公演と、1ヶ月の期間があることにより、より深く長唄を体感してもらうことができます。

長唄協会が培ってきた経験を、文化庁の援助により、さらに深め、発展させることができます。

②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

- ・長唄協会理事会において内容を監修し、事前にリハーサルを行います。
- ・ワークショップにおいては多くの事業にて指導経験の実績がある者が指導にあたり、演奏に関しては、熟練した演奏家による演奏を体感いただきます。
- ・体育館を4ブースに分け内側を向くという配置にすることで、移動の煩雑さを回避できます。また「出演者」であると同時に「観客」にもなり、それも体験と位置付けることが可能です。
- ・「休憩時間に楽器展示コーナーを設ける」「スライド等で状況補足をする」「簡易な衣装をつける」等の工夫により、聴覚はもとより視覚／触覚からも体感することができます。
- ・適宜質疑応答を設けることにより、児童／生徒からの質問や関心事に対して補足が可能となります。

一般社団法人長唄協会 ワークショップ

所要時間：90分(2時限+間休憩)
※学校の授業区分に合わせて構成されています。

みんなで和^{輪!}楽器体験

輪!になって発表しよう

きょうがのこむすめどうじょうじ

長唄『京鹿子娘道成寺』

長唄とは？

長唄は日本の伝統音楽の一分野であり、三味線音楽の代表的なものの一つでもあります。もともとは江戸時代よりつづく日本の代表的な演劇—歌舞伎の劇場音楽として発達したのですが、歌舞伎舞踊から独立した日本舞踊の伴奏や、長唄単体でも鑑賞されるようになり今日に至っております。

ワークショップ概要

- 使用場所 **【第1部】 お稽古** → 各パートごとのお部屋（体育館を含む）
【第2部】 発表会 → 体育館
- 持ち物
 - ・共通のテキスト ＊ワークショップ当日にお持ちします
 - ・座布団（もしくは防災頭巾、バスタオルなど）
※体育館での発表会にて正座をする際に使用します。
正座ができない児童/生徒は椅子を使用します。
- 曲 目 長唄 『京鹿子娘道成寺』
- お稽古内容 4つのパート（楽器）に分かれてお稽古します。
- パート **A唄 B三味線 C小鼓 D篠笛**
※ソプラノリコーダーで代用します。
上記A～Dの4種類のパートで、4部屋に分かれて長唄『京鹿子娘道成寺』のお稽古をします。

※各パートの参加人数は

唄（無制限）三味線（20名まで）小鼓（15名まで）笛（20名）までです。
全てのパートに参加者がいるように振り分けをお願いします。

【第1部】 お稽古 (45分) お稽古する各パートの紹介

A 唄

人数制限なし (参加人数が入れる部屋)

お稽古内容: 長唄『京鹿子娘道成寺』より→①謡ガカリ③梅とさんさん

能楽のような唄い方の「謡ガカリ」と、長唄らしい旋律の「梅とさんさん」をお稽古します。

男性と女性で白扇の持ち方が違います。

男性



女性



はくせん
白扇とは?

唄うときに持ち、唄わないときは置きます。観ているお客様に、誰が唄っているか示す役割もあります。ワークショップでは白扇を置いたり取ったりする所作もお稽古します。

男性用



女性用

※白扇をご用意します。

参考譜面

③

梅とさんさん桜は
何れ兄やら 弟やら
菖蒲杜若は 妹やら
何れ姉やら

①

謡ガカリ

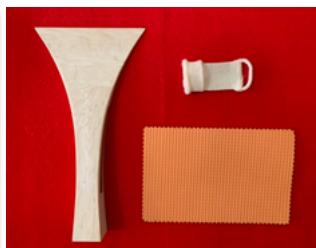
花の外には松ばかり
花の外には松ばかり
暮れそめて鐘や響くらん



唄のお稽古は、低学年からでも習得しやすくなっています。

B 三味線 最大人数 20 名まで (体育館)

お稽古内容: 長唄『京鹿子娘道成寺』より→②マリ④サラシ



ほそざお
長唄では細棹三味線を使用します。
ちゆうざお ふとざお
三味線には他に中棹、太棹があります。

【使用道具】
バチ、指かけ、膝ゴム

構え方



右手でバチを持ち、左手は棹を支えます。
右利きでも左利きでも同じように構えます。

弾き方



バチを使って
三本の糸を弾きます。

参考譜面

はあげ
(二上り)

② マリ

テン ドツ ツン テン ドツ ツン テン ツル テン ツル テン ツル テン ツル

3の息 1の息

3 3 3 3 3 3 3 3 3 3

K ← 3回くりかえす →

テン

3回目

④ サラシ

チチチチン チンチンチン チンチンチン

3の息 2の息 1の息

7 7 7 7 6 7 6 7 6 7 6 6

K ← 3回くりかえす →



楽器を構えることが難しいため、小学3年生以上を推奨します。

D 篠笛 最大人数 20 名まで (各教室)

お稽古内容: 長唄『京鹿子娘道成寺』より→③梅とさんさん ④サラシ

長唄の演奏に使われている笛は^{しのぶえ}篠笛と^{のうかん}能管の 2 種類です。



ワークショップでは、篠笛の旋律をお稽古します。
楽器は篠笛の代わりにソプラノリコーダーを使用します。

参考譜面

③ 梅とさんさん

④ サラシ



篠笛は譜面を参照のうえ、相応の読譜力があり、
リコーダーに慣れている児童を対象にご判断下さい。

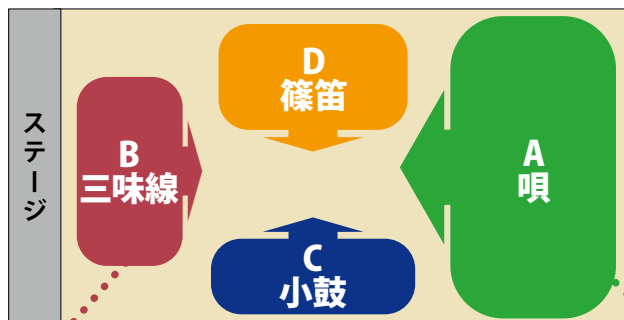
お稽古終了 休憩時間

体育館に集合しましょう!

【第2部】 発表会

一、**輪!**になって発表しよう 長唄『京鹿子娘道成寺』

体育館の中心を向き輪になるような形で発表会をします！



輪になることで、演奏しているお友だちの姿を見ることができます。

● プロ模範演奏 (5分)

皆さんが発表する長唄『京鹿子娘道成寺』をプロによる演奏で聴き、曲全体の流れをイメージしてください。

● ごあいさつ (5分)

共演する際に必要な、お辞儀、姿勢、所作などのお稽古をします。

伝統芸能の世界ではごあいさつは特に大事です。礼を重んじる気持ちを表します。お稽古をする前後、発表会をする前後など、「お願いいたします」「ありがとうございました」と必ずごあいさつをします。

● 合奏練習 (15分)

● 発表会! (10分)

みんなで息を合わせてよい演奏にしましょう。

発表会の前後には「お願いいたします」と「ありがとうございました」を心をこめて言いましょう。楽器体験、発表会は緊張はしますが、終わった後の達成感と安堵感は得難いものです。

二、本公演に向けて

● 「長唄」って何だろう？(5分)

「長唄」は三味線音楽のジャンルの一つで、17世紀前半に上方から江戸に伝わりました。最初は「歌舞伎」の伴奏音楽でしたが、江戸時代の後半には鑑賞用長唄として、歌舞伎を離れて純粹に演奏のみで楽しめる曲がたくさん作られました。その後、明治時代には演奏のみの長唄は大人気となり、今現在もその人気は続き、広く楽しまれています！

本公演ではこのような演奏が見られます



本公演ではワークショップでお稽古・発表した長唄『京鹿子娘道成寺』の演奏に、もう一度全員で参加します。そのほかにも細かい楽器の紹介や、長唄の名曲をじっくり鑑賞することができます。

長唄についてより深く知ることができ、和楽器の音色 や長唄という音楽に親んでもらえることを目指します。

● 感想 質疑応答 宿題提示 (5分)

長唄や、和楽器に初めて触れた感想、質問などをお聞かせください。本公演でも全員で長唄『京鹿子娘道成寺』の演奏に参加します。本公演まで忘れない工夫として、簡単な宿題を提示し、終了とします。

最後にごあいさつ

「ありがとうございました！」

*講師が作成した本公演の動画資料がありますので、そちらも参考にさせていただき、子供たちが本公演にむけて忘れずに取り組めるようにしました。

【長唄協会 YouTubeより】



一般社団法人長唄協会 本公演

所要時間：90分 使用場所：体育館

はじめての長唄『きょうがのこむすめどうじょうじ京鹿子娘道成寺』『かんじんちよう勧進帳』

長唄にはじめて触れる児童/生徒でも、分かりやすく、楽しめるプログラムです。
観て聴いて参加して、日本の伝統を心に刻む時間をお届けします。
プロ演奏家総勢13名の華やかで力強い演奏をじっくり鑑賞していただきます。

プログラム

【第1部】みんなで共演！

参加型長唄『京鹿子娘道成寺』

～プロと一緒に全員で演奏しよう～

開演前 ちやくとう「着到」で皆さんをお迎えます

着到とは？ 笛、締太鼓2管、大太鼓の構成で打つ儀礼的なお囃子の一つで、元来は座頭（一座の長である人）が到着したことを知らせる合図でした。現在では、歌舞伎公演の開演30分前に打ちます。歌舞伎以外の日本舞踏会でも歌舞伎と同じように「着到」を打つことが多くあります。本公演では、特別に児童/生徒の到着に合わせて、「着到」でお出迎えます。

開演 一、はじまりのお話（2分）

二、ごあいさつおさらい（5分）

ワークショップの時にもお稽古した、お辞儀、姿勢、所作などの指導を、共演に必要な形でおさらいします。

三、長唄『京鹿子娘道成寺』 作曲：初世 杵屋 弥三郎

●説明（3分）

長唄の最も有名な曲の一つで、白拍子の花子が道成寺の鐘供養に訪れ、舞を次々に披露するうちに鐘に飛び込み、蛇体となって現れるという筋です。場面ごとの変化に富んだ大曲ですが、その中でも親しみやすく、弾きやすい箇所を抜粋しました。初めて長唄に触れる児童/生徒でも楽しんでもらえることをねらい選曲しました。児童/生徒さんも肩衣を着て演奏できます！



●おさらい（13分）

全員で、唄や手拍子のおさらいをします。

●本番（プロと児童 / 生徒の共演）（10分）

ご挨拶を済ませるといよいよ幕が開きます。

幕が開いた壇上にはプロと一緒に肩衣姿の選抜児童 / 生徒※が並んでいます！
その他の児童 / 生徒たちは鑑賞場所から全員で、唄と手拍子で参加します！



児童 / 生徒さんも
肩衣を着て演奏
できます！

かたぎぬ
肩衣 ▶

※ 選抜児童 / 生徒について

ワークショップでお稽古した、唄・三味線・小鼓・リコーダーから、数名ずつ選抜して下さい。

選抜する人数は学校の規模、ステージの広さなどからこちらで指定します。選抜の児童 / 生徒は本公演当日、開演時間前に、パート練習、指導の時間を設けます（所要時間 2～30 分程度）。

本公演内の発表時にはステージに上がり、「肩衣」姿で演奏に参加できます！



●演奏終了

演奏終了後、幕が閉じます。

「ありがとうございました！」

演奏後のご挨拶をします。

ステージ上の選抜の児童 / 生徒に出来栄え、感想をうかがいます♪

休 憩

（10分程度）

●楽器展示コーナー

休憩時間中、間近で楽器を見られるコーナーを設けます。



三味線、小鼓、締太鼓、など

【第2部】じっくり鑑賞

『勸進帳』

～プロの熱演を心ゆくまで堪能してください～

開演 一、^{まくあ}幕開き (1分)

後半の鑑賞の幕開きです。

今回は『^{かたしやぎり}片砂切』という能管と締太鼓によって演奏される音楽で幕を開けます。

幕開きとは？

公演や演奏のはじまりに幕が開くことをいいます。
音がつくこともあれば、ないこともあります。

二、さまざまな音に親しむ「楽器紹介」(20分)

● 和楽器を知ろう



三、鑑賞長唄『勸進帳』（説明と鑑賞含め）（20分）

作曲：四世杵屋六三郎 作詞：三世並木五瓶

歌舞伎でも特に人気の演目ですが、その音楽だけを取り出しても、ドラマチックで変化に富み、プロの高度な演奏技術を堪能することができます。曲の後半には「瀧流しの合方」という器楽だけで演奏される部分があり、そのスピード感と一糸乱れぬ演奏は圧巻の一言です。

『勸進帳』は中学校 音楽の教科書にも掲載され授業に採用している学校も多いため、実際の生演奏にふれることは貴重な経験となります。



●曲の解説の際にプロジェクターを使用して歌舞伎の一場面をご覧いただけます。



四、アフタートーク（4分）

ワークショップから本公演の体験・鑑賞を終えた皆さんの質問にお答えします。ぜひ、感想をお聞かせください。

五、校歌斉唱（3分）

和楽器による伴奏で校歌を歌いましょう。



終演後 六、退場

児童 / 生徒の退場時は「打ち出し」という音楽を演奏し、本公演の締めくくりとします。

打ち出しとは？

一日の公演が終わったときに大太鼓によって打つ音楽です。「デテケデテケ（出てけ）」と聞こえるように打ちます！はじめは急調に段々と緩やかになり最後は縁をカラカラカラと打ち、木戸を閉める演出で終わります。

一般社団法人長唄協会 ワークショップ

所要時間：90分(2時限+間休憩)
※学校の授業区分に合わせて構成されています。

みんなで和^{輪!}楽器体験

輪!になって発表しよう

きょうがのこむすめどうじょうじ

長唄『京鹿子娘道成寺』

長唄とは？

長唄は日本の伝統音楽の一分野であり、三味線音楽の代表的なものの一つでもあります。もともとは江戸時代よりつづく日本の代表的な演劇—歌舞伎の劇場音楽として発達したのですが、歌舞伎舞踊から独立した日本舞踊の伴奏や、長唄単体でも鑑賞されるようになり今日に至っております。

ワークショップ概要

- 使用場所 **【第1部】 お稽古** → 各パートごとのお部屋（体育館を含む）
【第2部】 発表会 → 体育館

- 持ち物
 - ・共通のテキスト ＊ワークショップ当日にお持ちします
 - ・座布団（もしくは防災頭巾、バスタオルなど）
※体育館での発表会にて正座をする際に使用します。
正座ができない児童/生徒は椅子を使用します。

- 曲 目 長唄 『京鹿子娘道成寺』

- お稽古内容 4つのパート（楽器）に分かれてお稽古します。

- パート **A唄 B三味線 C小鼓 D篠笛**

※ソプラノリコーダーで代用します。

上記A～Dの4種類のパートで、4部屋に分かれて
長唄『京鹿子娘道成寺』のお稽古をします。

※各パートの参加人数は

唄（無制限）三味線（20名まで）小鼓（15名まで）笛（20名）までです。
全てのパートに参加者がいるように振り分けをお願いします。

【第1部】 お稽古 (45分) お稽古する各パートの紹介

A 唄

人数制限なし (参加人数が入れる部屋)

お稽古内容: 長唄『京鹿子娘道成寺』より→①謡ガカリ③梅とさんさん

能楽のような唄い方の「謡ガカリ」と、長唄らしい旋律の「梅とさんさん」をお稽古します。

男性と女性で白扇の持ち方が違います。

男性



女性



はくせん
白扇とは？

唄うときに持ち、唄わないときは置きます。観ているお客様に、誰が唄っているか示す役割もあります。ワークショップでは白扇を置いたり取ったりする所作もお稽古します。

男性用



女性用

※白扇をご用意します。

参考譜面

③

梅とさんさん桜は
何れ兄やら 弟やら
菖蒲杜若は 弟やら
何れ姉やら 妹やら

①

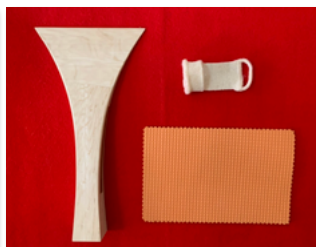
謡ガカリ

花の外には松ばかり
花の外には松ばかり
暮れそめて鐘や響くらん



唄のお稽古は、低学年からでも習得しやすくなっています。

B 三味線 最大人数 20 名まで (体育館) お稽古内容: 長唄『京鹿子娘道成寺』より→②マリ④サラシ



ほそざお
長唄では細棹三味線を使用します。
ちゅうざお ふとざお
三味線には他に中棹、太棹があります。

【使用道具】
パチ、指かけ、膝ゴム

構え方



右手でパチを持ち、左手は棹を支えます。
右利きでも左利きでも同じように構えます。

弾き方



パチを使って
三本の糸を弾きます。

参考譜面

はあげ
(二上り)

② マリ

K ← 3 回くりかえす →

	テンドツ	ツン	テンドツ	ツン	テンツル	テンツル	テンツル	テンツル
3の糸	○	3	○	3	○	○	○	○
2の糸					○	○	○	○
1の糸					○	○	○	○

3回目 テン

④ サラシ

チチチチン チンチンチントチ チンチン

3の糸	7	7	7	7	6	7	6	7	6	6
2の糸										
1の糸										

K ← 3 回くりかえす →



楽器を構えることが難しいため、小学3年生以上を推奨します。

D 篠笛 最大人数 20 名まで (各教室)

お稽古内容: 長唄『京鹿子娘道成寺』より→③梅とさんさん ④サラシ

長唄の演奏に使われている笛は^{しのぶえ}篠笛と^{のうかん}能管の 2 種類です。



ワークショップでは、篠笛の旋律をお稽古します。
楽器は篠笛の代わりにソプラノリコーダーを使用します。

参考譜面

③ 梅とさんさん

④ サラシ



篠笛は譜面を参照のうえ、相応の読譜力があり、
リコーダーに慣れている児童を対象にご判断下さい。

お稽古終了 休憩時間

体育館に集合しましょう!

【第2部】 発表会

一、**輪!**になって発表しよう 長唄『京鹿子娘道成寺』

体育館の中心を向き輪になるような形で発表会をします!



輪になることで、演奏しているお友だちの姿を見ることができます。

● プロ模範演奏 (5分)

皆さんが発表する長唄『京鹿子娘道成寺』をプロによる演奏で聴き、曲全体の流れをイメージしてください。

● ごあいさつ (5分)

共演する際に必要な、お辞儀、姿勢、所作などのお稽古をします。

伝統芸能の世界ではごあいさつは特に大事です。礼を重んじる気持ちを表します。

お稽古をする前後、発表会をする前後など、「お願いいたします」「ありがとうございました」と必ずごあいさつをします。

● 合奏練習 (15分)

● 発表会! (10分)

みんなで息を合わせてよい演奏にしましょう。

発表会の前後には「お願いいたします」と「ありがとうございました」を心をこめて言いましょう。楽器体験、発表会は緊張はしますが、終わった後の達成感と安堵感は得難いものです。

二、本公演に向けて

● 「長唄」って何だろう？(5分)

「長唄」は三味線音楽のジャンルの一つで、17世紀前半に上方から江戸に伝わりました。最初は「歌舞伎」の伴奏音楽でしたが、江戸時代の後半には鑑賞用長唄として、歌舞伎を離れて純粹に演奏のみで楽しめる曲がたくさん作られました。その後、明治時代には演奏のみの長唄は大人気となり、今現在もその人気は続き、広く楽しまれています！

本公演ではこのような演奏が見られます



本公演ではワークショップでお稽古・発表した長唄『京鹿子娘道成寺』の演奏に、もう一度全員で参加します。そのほかにも細かい楽器の紹介や、長唄の名曲をじっくり鑑賞することができます。長唄についてより深く知ることができ、和楽器の音色 や長唄という音楽に親しんでもらえることを目指します。

● 感想 質疑応答 宿題提示 (5分)

長唄や、和楽器に初めて触れた感想、質問などをお聞かせください。本公演でも全員で長唄『京鹿子娘道成寺』の演奏に参加します。本公演まで忘れない工夫として、簡単な宿題を提示し、終了とします。

最後にごあいさつ

「ありがとうございました！」

*講師が作成した本公演の動画資料がありますので、そちらも参照にいただき、子供たちが本公演にむけて忘れずに取り組めるようにしました。

【長唄協会 YouTubeより】

